

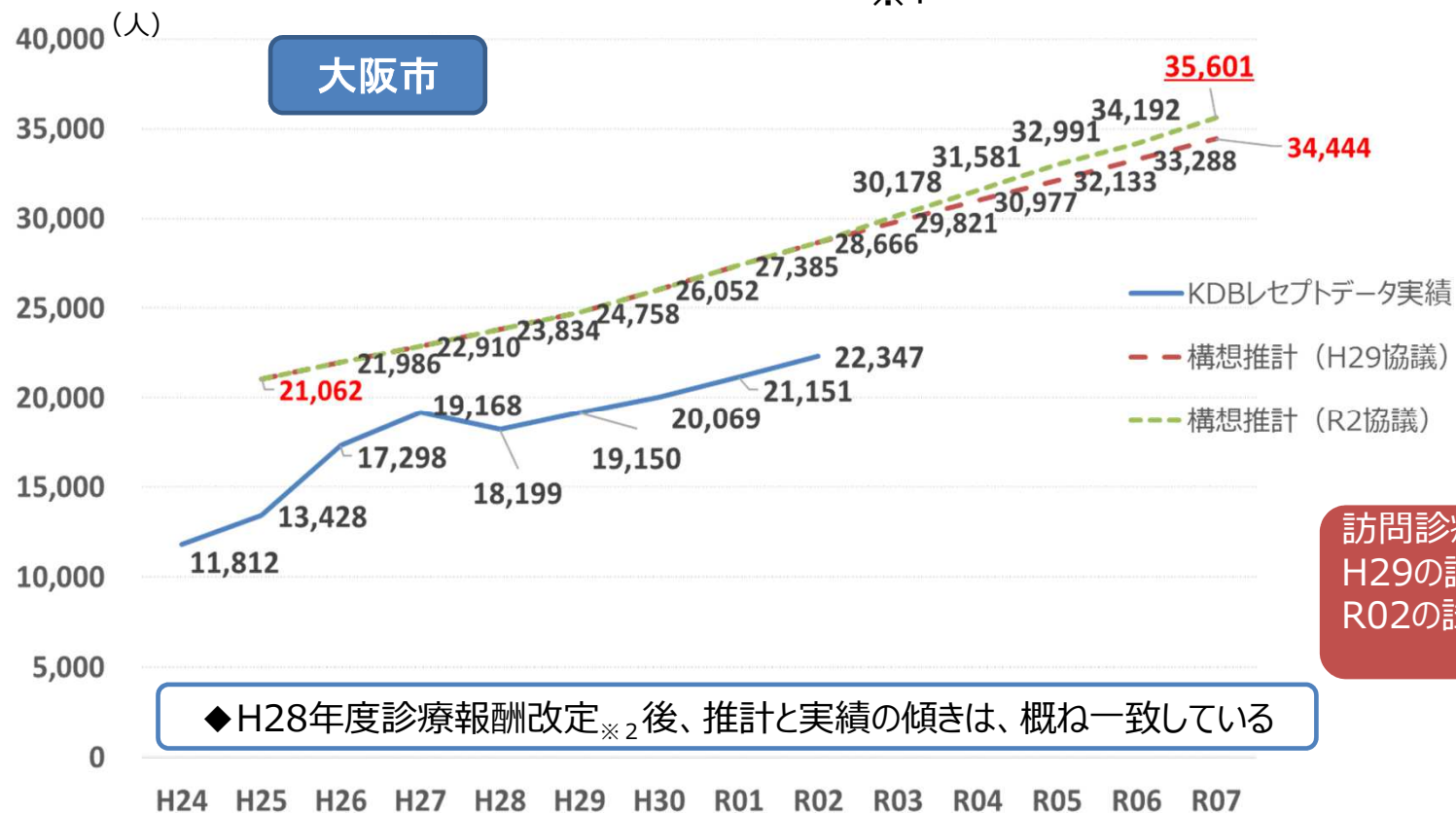
令和4年度 在宅医療懇話会

圏域(区)別データ <大阪市二次医療圏>

医療計画における在宅医療の指標及び各圏域の参考指標の状況

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況①

訪問診療(在宅医療)の需要推計について※1



訪問診療の需要見込みについて
H29の試算では1.64倍
R02の試算では1.69倍となった。
(H25～R07年の伸び率)

※1 訪問診療(在宅医療)の需要推計について

・構想推計: 地域医療構想策定支援ツールのレセプトデータ(厚生労働省提供)を基に「在宅患者訪問診療料」が届出された患者数から推計。

推計値については、介護保険事業計画との整合性を図るため、「医療・介護の体制整備に係る協議の場」で協議することになっている。(H29年及びR2年に開催)

・KDBレセプトデータ実績: 国保データベースのレセプトデータ(厚生労働省提供)から「在宅患者訪問診療料」を算定された月平均患者数を使用。

被用者保険及び医療扶助を含まない。

※2 H28年度診療報酬改定: 患者の重症度、訪問回数(同一建物の同一日訪問であるか)に応じて細分化等。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況②

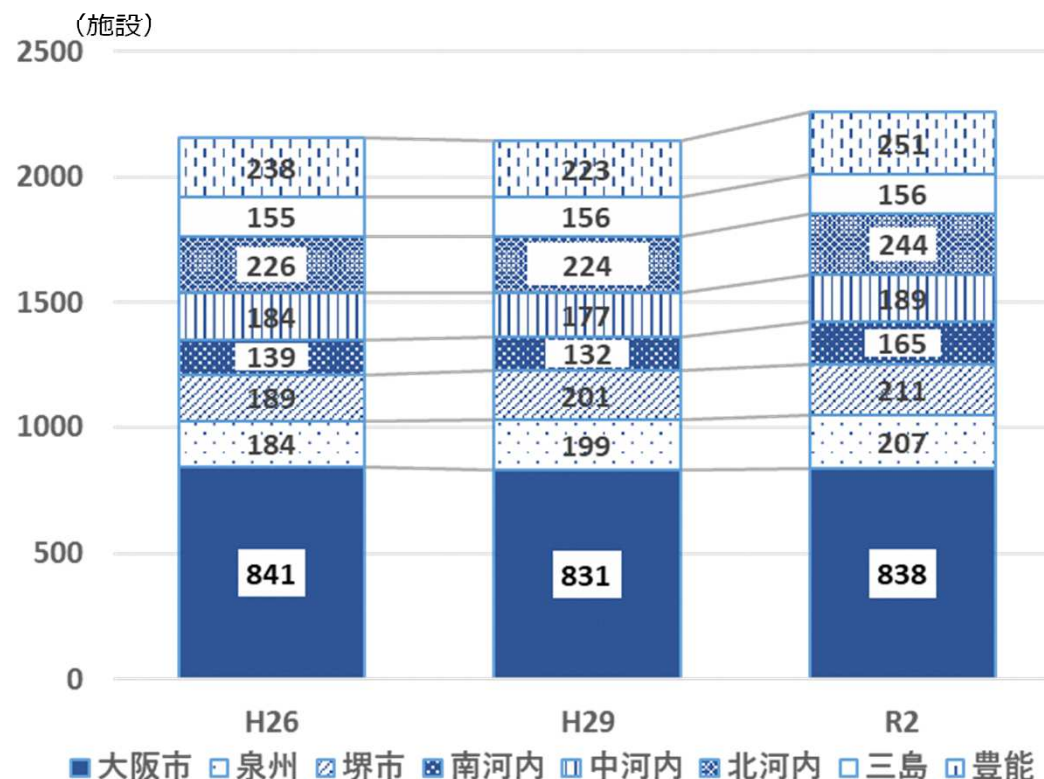
訪問診療を実施している病院・診療所数

	H26	H29	R2	人口10万人 あたり施設数
豊能	238	223	251	24.2
三島	155	156	156	21.0
北河内	226	224	244	21.5
中河内	184	177	189	23.8
南河内	139	132	165	27.6
堺市	189	201	211	25.8
泉州	184	199	207	23.3
大阪市	841	831	838	32.4
大阪府	2,156	2,143	2,261	26.3
全国	23,289	22,869	23,160	

出典：厚生労働省（医療施設調査）

調査時点：各年10月1日

人口は総務省（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査）2020年



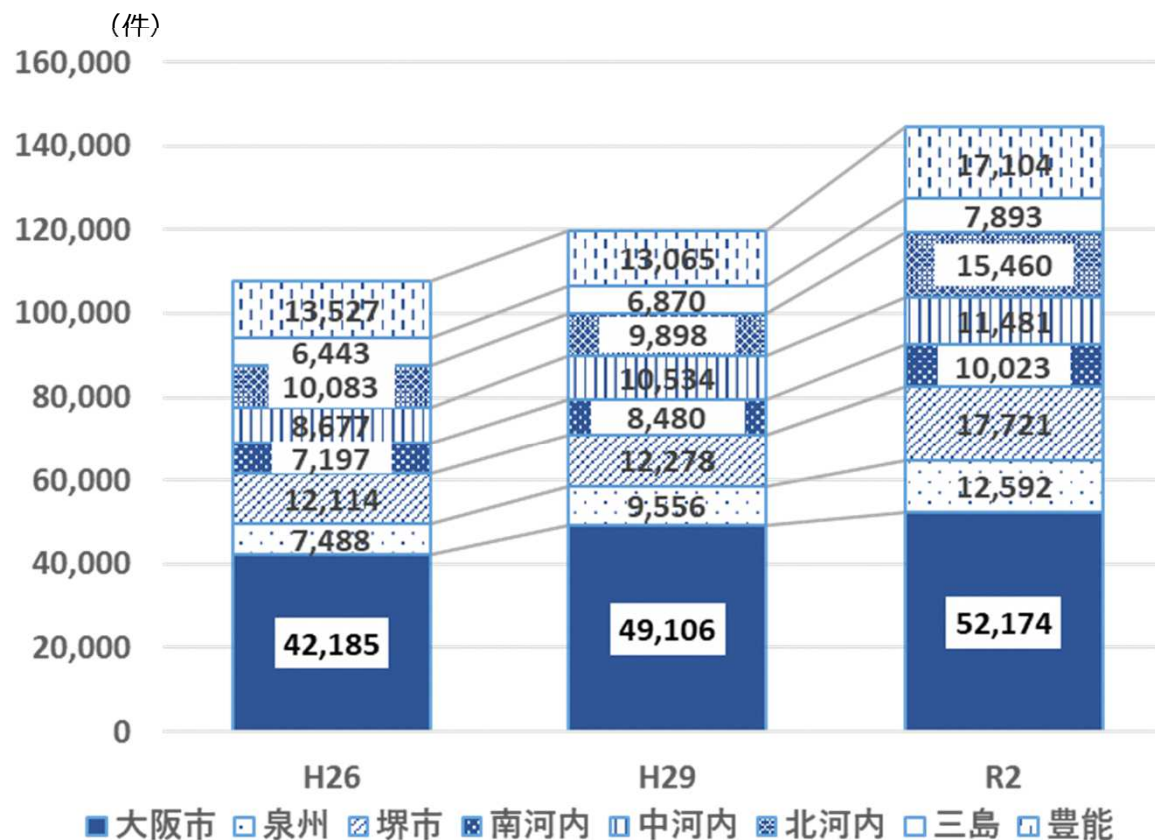
訪問診療を実施している病院・診療所数について、R2は、H29と比較して、三島圏域を除いて大阪府全体で増加傾向である。

また、H26と比較すると、大阪府全体では、1.05倍であるが、大阪市圏域で微減となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況③

訪問診療件数(病院・診療所)

	H26	H29	R2	人口1000人 あたり件数
豊能	13,527	13,065	17,104	16.5
三島	6,443	6,870	7,893	10.6
北河内	10,083	9,898	15,460	13.6
中河内	8,677	10,534	11,481	14.4
南河内	7,197	8,480	10,023	16.8
堺市	12,114	12,278	17,721	21.6
泉州	7,488	9,556	12,592	14.2
大阪市	42,185	49,106	52,174	20.2
大阪府	107,714	119,787	144,448	16.8
全国	1,072,285	1,228,040	1,477,229	



出典：厚生労働省(医療施設調査)

数値は各年9月1か月間の値

人口は総務省(住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査)2020年

病院及び診療所における訪問診療件数について、R2は、全圏域で増加し、大阪府全体でH26の1.34倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況④

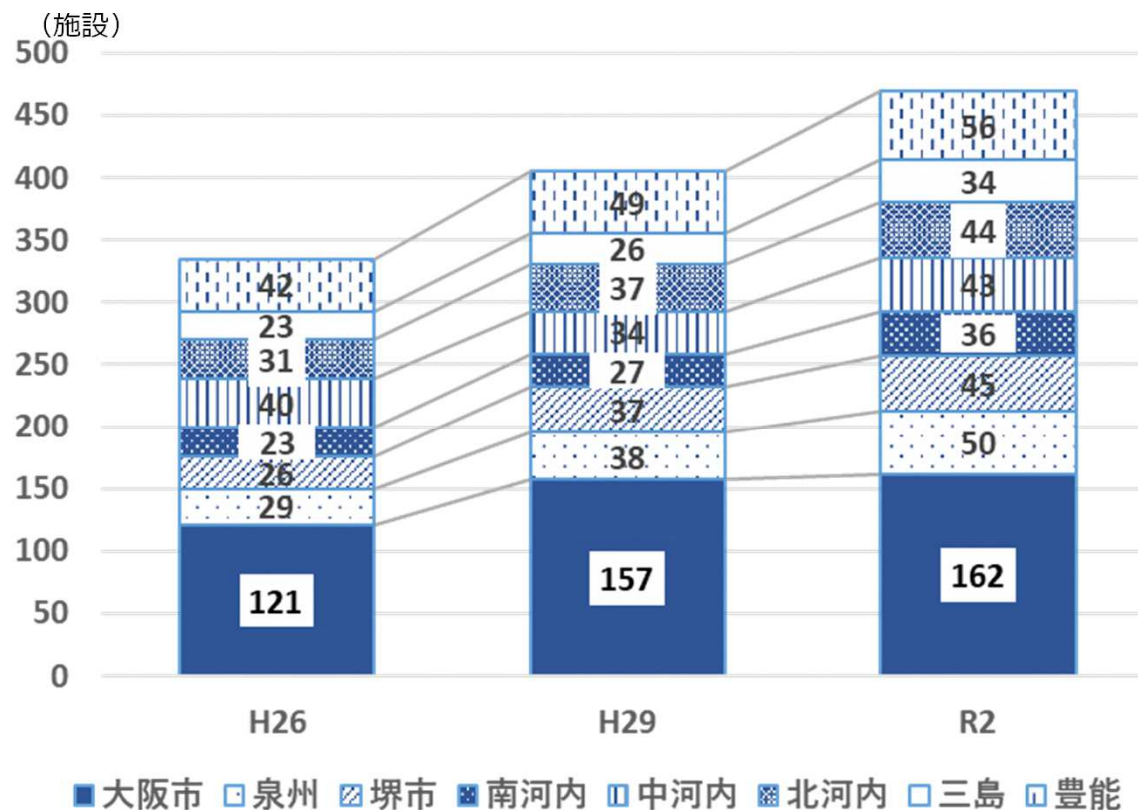
在宅看取りを実施している病院・診療所数

	H26	H29	R2	人口10万人 あたり施設数
豊能	42	49	56	5.4
三島	23	26	34	4.6
北河内	31	37	44	3.9
中河内	40	34	43	5.4
南河内	23	27	36	6.0
堺市	26	37	45	5.5
泉州	29	38	50	5.6
大阪市	121	157	162	6.3
大阪府	335	405	470	5.5
全国	4,788	5,312	6,043	

出典：厚生労働省（医療施設調査）

調査時点：各年10月1日

人口は総務省（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査）2020年



在宅看取りを実施している病院・診療所数は、全圏域において、H26から増加傾向にあり、大阪府全体では、R2はH26の約1.40倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑤

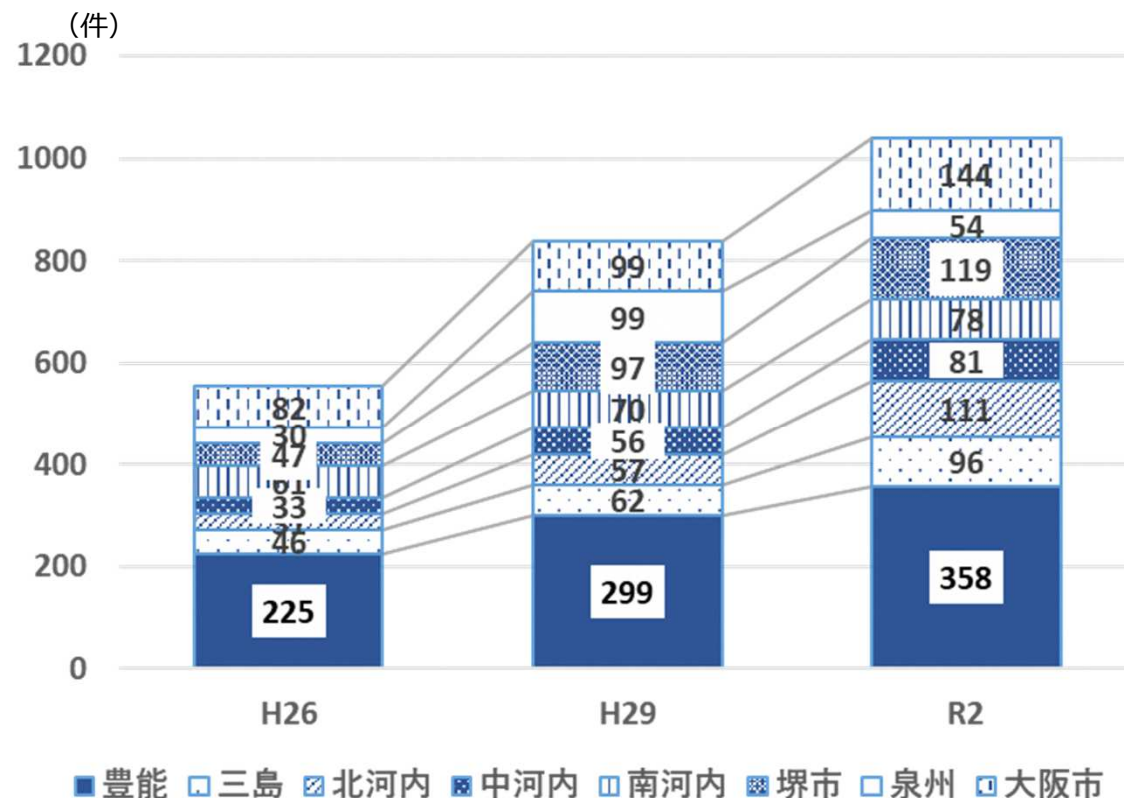
在宅看取り件数(病院・診療所)

	H26	H29	R2	人口10万人 あたり件数
豊能	82	99	144	13.9
三島	30	99	54	7.3
北河内	47	97	119	10.5
中河内	61	70	78	9.8
南河内	33	56	81	13.6
堺市	31	57	111	13.5
泉州	46	62	96	10.8
大阪市	225	299	358	13.9
大阪府	555	839	1,041	12.1
全国	8,996	11,286	15,285	

出典:厚生労働省(医療施設調査)

数値は各年9月1か月間の値

人口は総務省(住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査)2020年



在宅看取りを実施している診療所及び病院での看取り件数は、全圏域において、H26から増加傾向にあり、大阪府全体では、R2はH26の約1.88倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑥

在宅療養支援診療所数

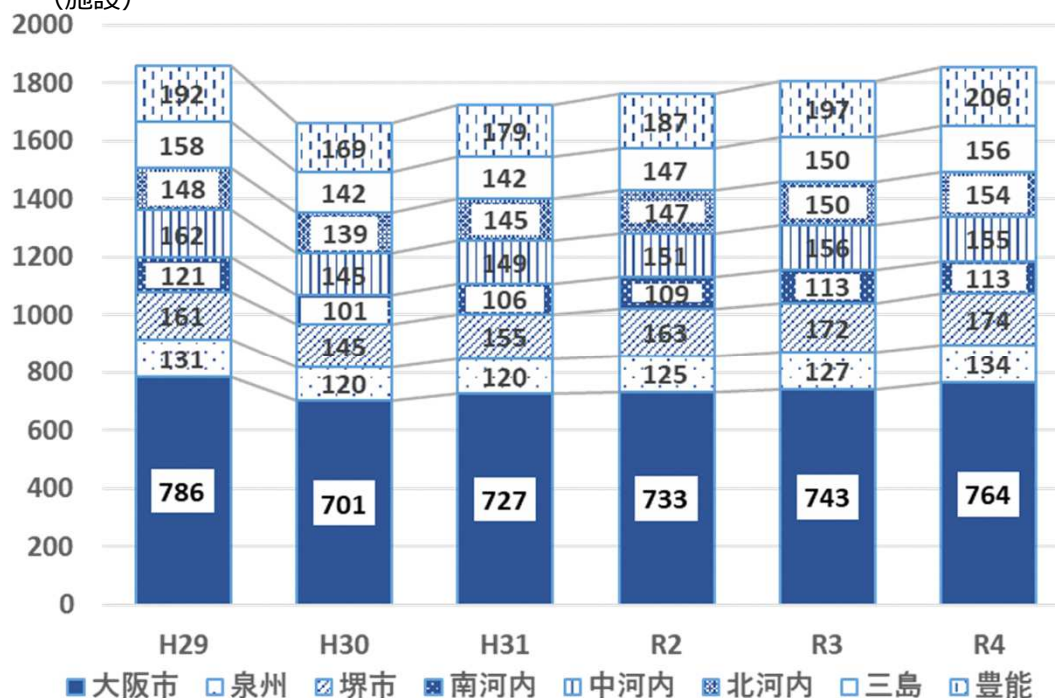
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	192	169	179	187	197	206	19.5
三島	158	142	142	147	150	156	20.6
北河内	148	139	145	147	150	154	13.7
中河内	162	145	149	151	156	155	18.9
南河内	121	101	106	109	113	113	19.3
堺市	161	145	155	163	172	174	21.3
泉州	131	120	120	125	127	134	15.4
大阪市	786	701	727	733	743	764	27.8
大阪府	1859	1662	1723	1762	1808	1856	21.1

出典：近畿厚生局調べ(施設基準)

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和4年4月1日(令和4年8月1日府ホームページ掲載分)

在宅療養支援診療所：
訪問診療を、24時間・365日体制の緊急コールセンターと共に提供できる診療所
(施設)



在宅療養支援診療所数は、H30に全体として減少が見られたが、その後は増加傾向に転じている。

※H28診療報酬改定で、施設基準が変更され、これ以前の基準で届出していた診療所は、H29年3月31日まで経過措置により在宅療養支援診療所とされていたが、新基準を満たさなかった診療所が経過措置期間が終了し、届け出なかった施設があったと想定される。

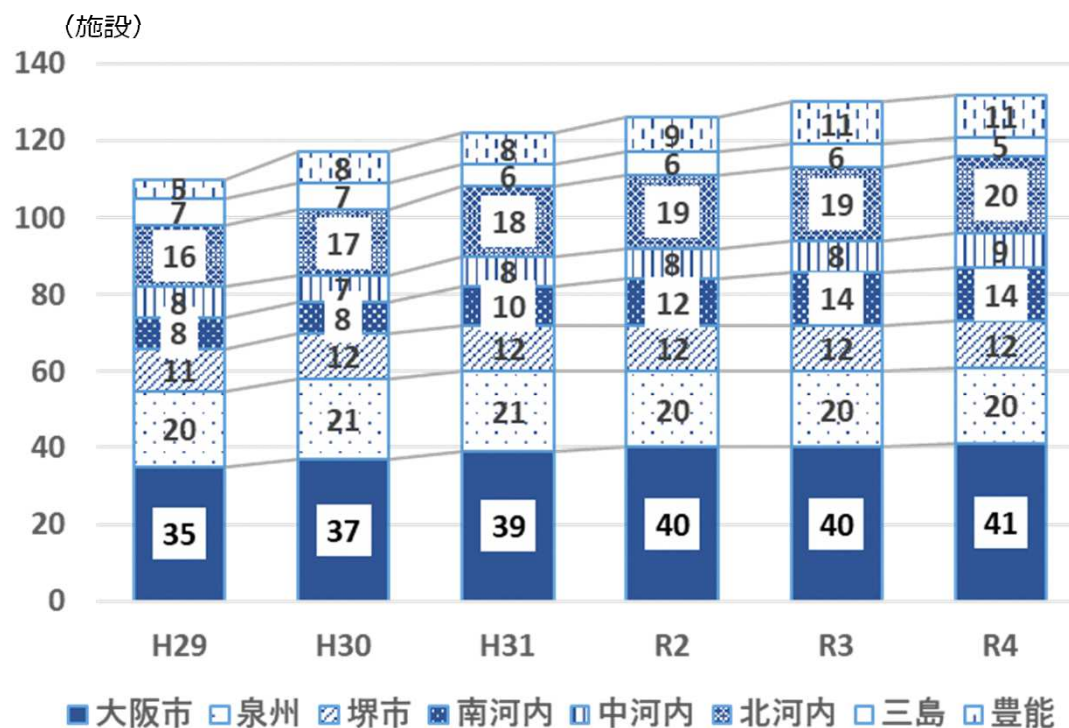
【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑦

在宅療養支援病院数

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	5	8	8	9	11	11	1.0
三島	7	7	6	6	6	5	0.7
北河内	16	17	18	19	19	20	1.8
中河内	8	7	8	8	8	9	1.1
南河内	8	8	10	12	14	14	2.4
堺市	11	12	12	12	12	12	1.5
泉州	20	21	21	20	20	20	2.3
大阪市	35	37	39	40	40	41	1.5
大阪府	110	117	122	126	130	132	1.5

在宅療養支援病院：

訪問診療を、24時間・365日体制の緊急コールセンターと共に提供できる病院



在宅療養支援病院は、三島圏域を除き、大阪府全体で、微増傾向にあり、大阪府全体で、R4はH29の約1.20倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑧

在宅療養後方支援病院数

在宅療養後方支援病院：

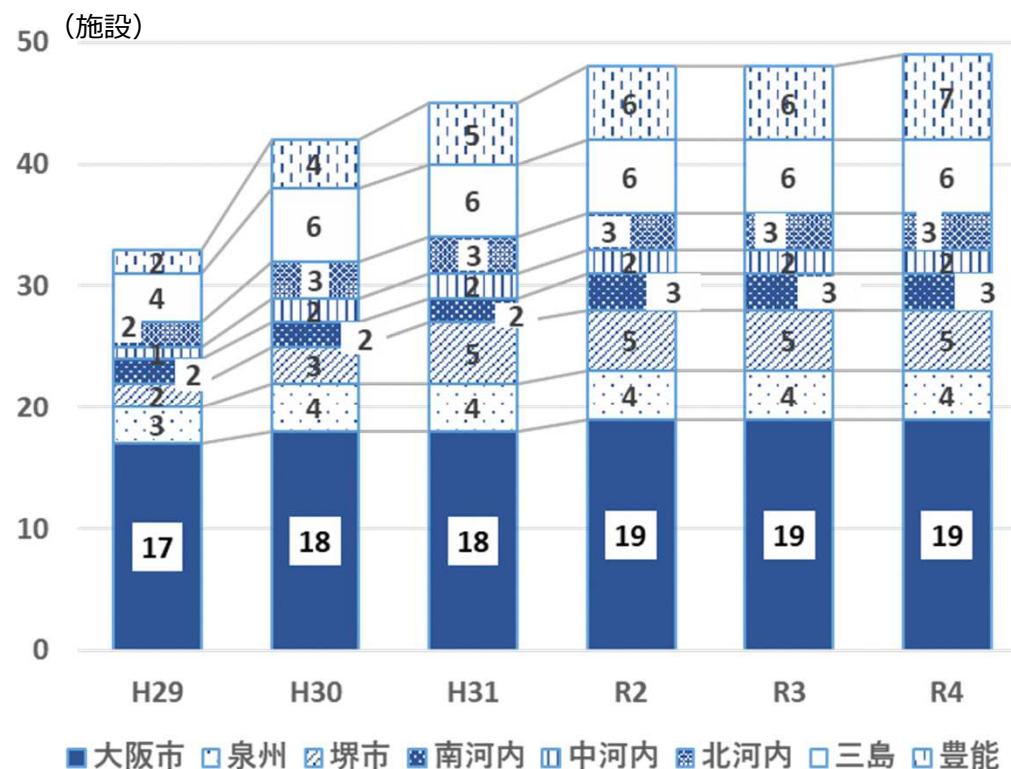
在宅医療を提供する医療機関の求めに応じて、入院を希望する患者の診療が24時間可能な体制を確保する病院

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	2	4	5	6	6	7	0.66
三島	4	6	6	6	6	6	0.79
北河内	2	3	3	3	3	3	0.27
中河内	1	2	2	2	2	2	0.24
南河内	2	2	2	3	3	3	0.51
堺市	2	3	5	5	5	5	0.61
泉州	3	4	4	4	4	4	0.46
大阪市	17	18	18	19	19	19	0.69
大阪府	33	42	45	48	48	49	0.56

出典：近畿厚生局調べ(施設基準)

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和4年4月1日(令和4年8月1日府ホームページ掲載分)



在宅療養後方支援病院は、医療計画において、「2023年に人口10万人あたり0.4施設以上を整備できている医療圏が7か所以上」を目標としている。

R4年4月現在、この基準を満たしている医療圏は6圏域である。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑨

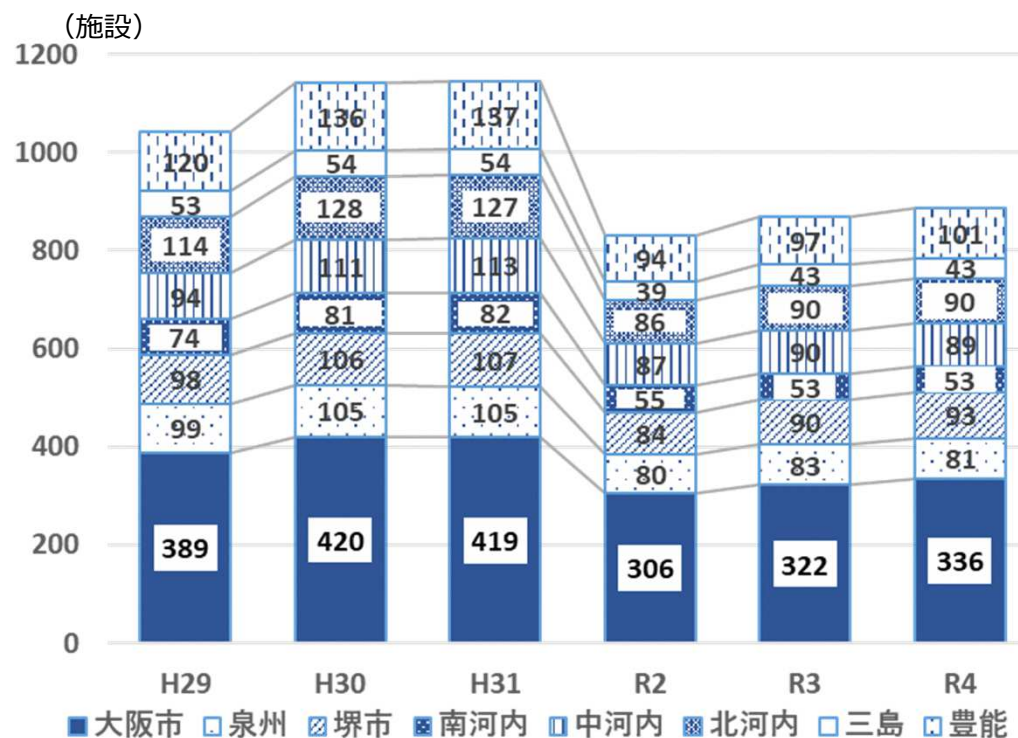
在宅療養支援歯科診療所数

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	120	136	137	94	97	101	9.6
三島	53	54	54	39	43	43	5.7
北河内	114	128	127	86	90	90	8.0
中河内	94	111	113	87	90	89	10.9
南河内	74	81	82	55	53	53	9.1
堺市	98	106	107	84	90	93	11.4
泉州	99	105	105	80	83	81	9.3
大阪市	389	420	419	306	322	336	12.2
大阪府	1041	1141	1144	831	868	886	10.1

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和4年4月1日（令和4年8月1日府ホームページ掲載分）



在宅療養支援歯科診療所については、令和2年に減少※したが、その後、微増傾向である。

※H30診療報酬改定で、施設基準が変更され、これ以前の基準で届出していた歯科診療所は、R2年3月31日まで経過措置により、在宅療養支援歯科診療所となっていたが、新基準を満たさなかった歯科診療所が経過措置期間の終了とともに、届出しなかったと想定される。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑩

在宅患者調剤加算を届出した薬局数

在宅患者調剤加算：

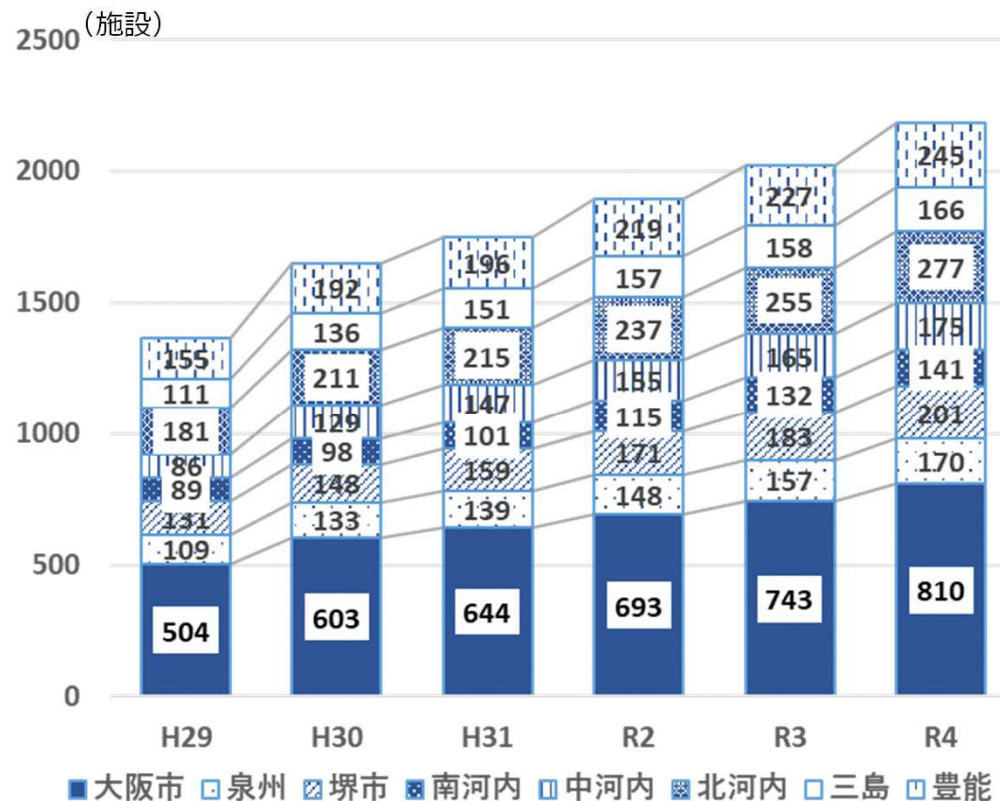
在宅業務を行っている薬局が、厚生労働省が求める施設要件を満たせば算定できる加算

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	155	192	196	219	227	245	23.2
三島	111	136	151	157	158	166	21.9
北河内	181	211	215	237	255	277	24.6
中河内	86	129	147	155	165	175	21.4
南河内	89	98	101	115	132	141	24.1
堺市	131	148	159	171	183	201	24.6
泉州	109	133	139	148	157	170	19.5
大阪市	504	603	644	693	743	810	29.5
大阪府	1366	1650	1752	1895	2020	2185	24.9

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和4年4月1日（令和4年8月1日府ホームページ掲載分）



在宅患者調剤加算を届出した薬局は、H29～R4の間、全圏域において、前年を上回り順調に伸びている。
大阪府全体では、R4はH29年の約1.60倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑪

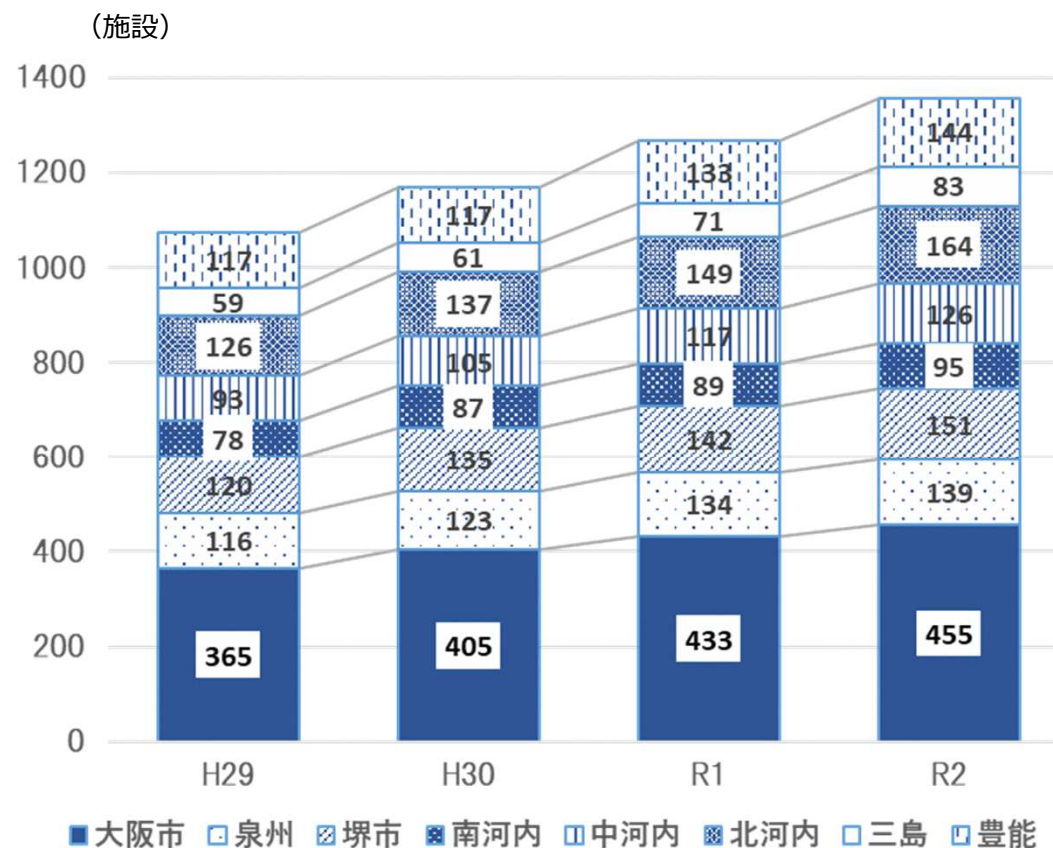
訪問看護ステーション数

	H29	H30	R1	R2	人口10万人 あたり施設数
豊能	117	117	133	144	13.9
三島	59	61	71	83	11.2
北河内	126	137	149	164	14.5
中河内	93	105	117	126	15.8
南河内	78	87	89	95	15.9
堺市	120	135	142	151	18.4
泉州	116	123	134	139	15.7
大阪市	365	405	433	455	17.6
大阪府	1,074	1,170	1,268	1,357	15.8
全国	10,305	10,884	11,580	12,393	

出典：厚生労働省「在宅医療に係る地域別データ集」

調査時点：各年10月1日

人口は総務省（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査）2020年



訪問看護ステーション数は、H26以降、全圏域で増加しており、大阪府全体でH26（756施設）からR2では約1.79倍となっている。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑫

入退院加算を算定する病院、診療所数

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	人口10万人 あたり施設数
豊能	28	29	29	29	31	30	2.8
三島	23	22	24	24	24	25	3.3
北河内	34	34	37	38	38	37	3.3
中河内	19	20	20	20	21	21	2.6
南河内	19	21	20	22	23	23	3.9
堺市	21	21	19	20	19	19	2.3
泉州	25	25	25	28	28	29	3.3
大阪市	79	83	83	84	85	89	3.2
大阪府	248	255	257	265	269	273	3.1

出典：近畿厚生局調べ（施設基準）

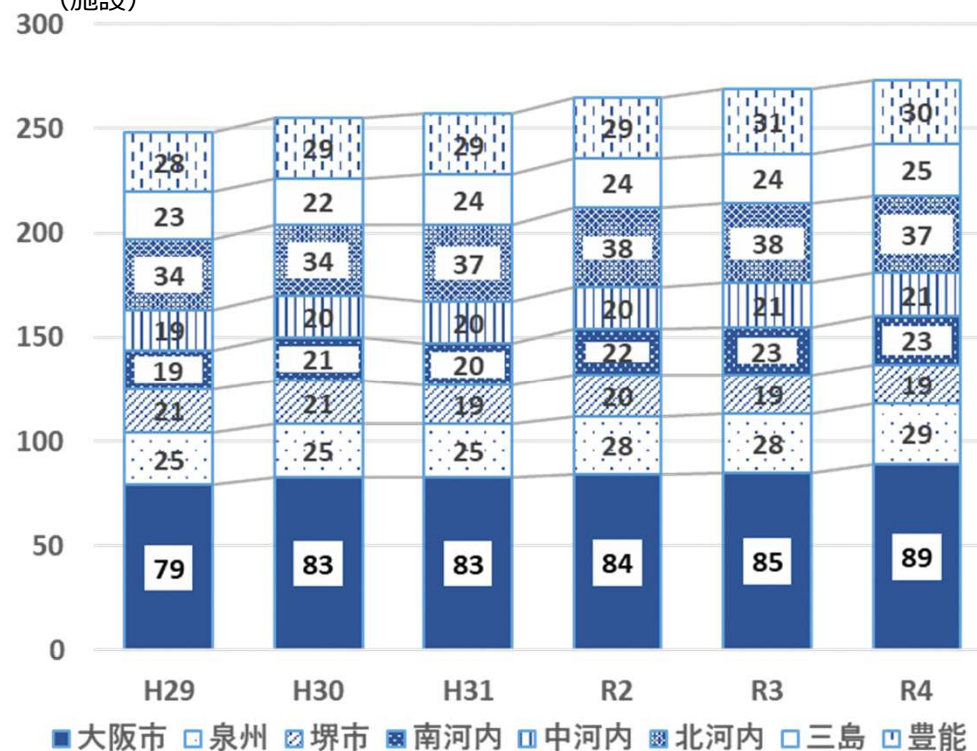
調査時点：各年4月1日

人口は大阪府人口推計 令和4年4月1日（令和4年8月1日府ホームページ掲載分）

入退院支援加算：

施設間の連携を推進した上で、入院早期より退院困難な要因を有する患者を抽出し、入退院支援を実施することを評価するもの

（施設）



入退院加算を算定する病院、診療所数についても、全圏域で微増傾向である。

【圏域別】医療計画の在宅医療に係る参考指標の状況⑬

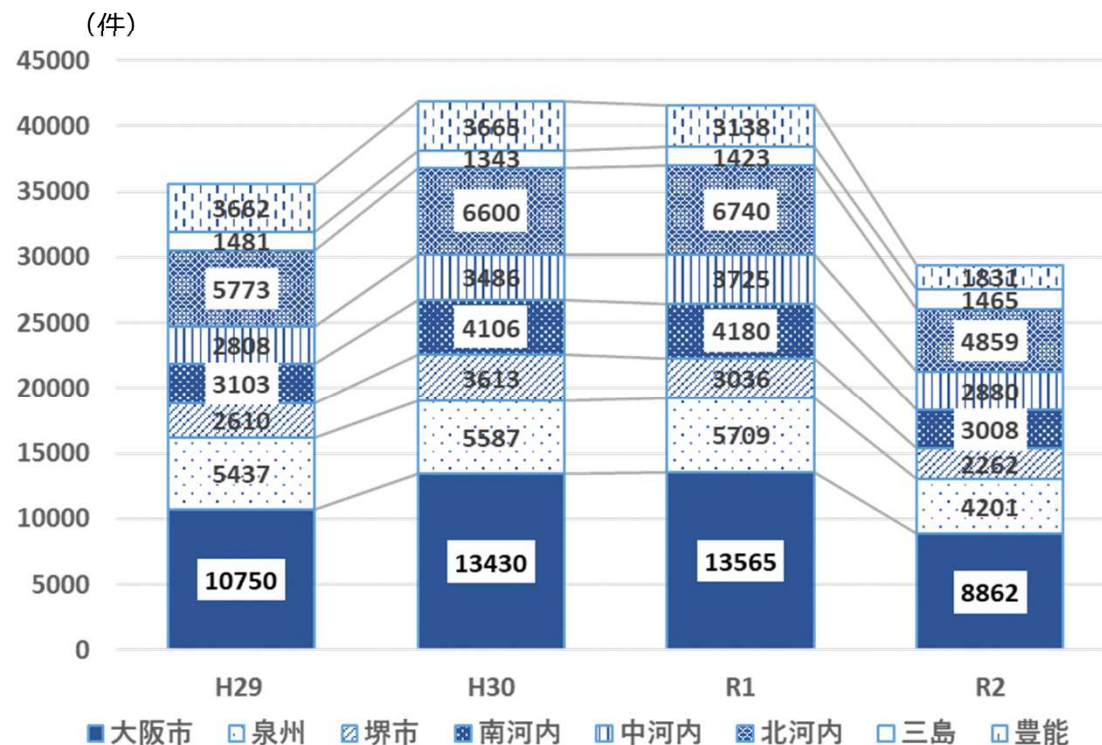
入退院機関とケアマネジャーの連携数 (介護支援連携指導料加算件数)

	H29	H30	R1	R2
豊能	3,662	3,665	3,138	1,831
三島	1,481	1,343	1,423	1,465
北河内	5,773	6,600	6,740	4,859
中河内	2,808	3,486	3,725	2,880
南河内	3,103	4,106	4,180	3,008
堺市	2,610	3,613	3,036	2,262
泉州	5,437	5,587	5,709	4,201
大阪市	10,750	13,430	13,565	8,862
府合計	35,624	41,830	41,516	29,368

出典：NDBデータ(データブック)

人口は総務省(住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査)2020年

介護支援連携指導料加算：
患者の退院後の介護サービス等を見越した取組を評価するもの



入退院機関とケアマネジャーの連携数(介護支援連携指導料加算件数)について、R1まで増加傾向にあったが、R2は三島圏域を除いて減少している。

まとめ

- ◆ 訪問診療について、大阪府全体では、訪問診療を実施する病院・診療所の伸び(1.05倍)よりも訪問診療件数の伸び(1.34倍)が大きく、看取りにおいても同様の傾向となっている。また、訪問診療件数の伸び(1.34倍)よりも看取り件数の伸び(1.88倍)が大きくなっている。
(上記の伸び率は、すべてH26年からR2年までの増加分)
- ◆ 在宅療養支援診療所数、在宅療養支援歯科診療所数については、診療報酬の改定により、施設基準が変更されたことによって数は減少したが、その後は、増加に転じている。
- ◆ 在宅患者調剤加算を届出している薬局数と訪問看護ステーション数は、各圏域で、年々増加している。